

2012年度決算説明会

クリヤマホールディングス株式会社(東証第二部3355)

代表取締役CEO 服部 兵衛



クリヤマ(株)(日本)



Kuriyama of America, Inc(米国)



Kuriyama Canada, Inc(カナダ)



Kuriyama de Mexico(メキシコ)



Accuflex Industrial Hose, Ltd(カナダ)

目 次

I. 2012年12月期決算概要

2012年度決算サマリー	P. 3
損益の状況	P. 4
販管費・営業外損益の状況	P. 5
セグメントの状況	P. 6
北米事業の状況	P. 7
産業資材事業の状況	P. 8
建設資材事業の状況	P. 9
スポーツ施設資材事業の状況	P. 10
要約貸借対照表	P. 11
キャッシュフロー、設備投資等	P. 13

II. 2013年度 業績見通し

クリヤマグループ業績見通し	P. 15
事業セグメント別業績見通し	P. 16
セグメント別業績変動要因	P. 17
配当金の状況	P. 18

III. 経営戦略と対処すべき課題

基本戦略	P. 20
北米事業	P. 22
産業資材事業	P. 23
建設資材事業	P. 24
スポーツ施設資材事業	P. 25
その他	P. 26

【 注 意 事 項 】

本資料に記載されている、クリヤマホールディングス株式会社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

I . 2012年12月期決算概要

2012年度決算サマリー

当期の経営環境

- 北米事業のホースの販売は、現地通貨で過去最高売上、営業利益を確保し、前期を上回り好調
- 量産用機械向け資材の販売が第三四半期累計期間好調
- 公共投資向け資材の販売が減少も民間投資向け資材の販売が増加した結果、建設資材事業の採算性が改善
- 東日本大震災復興需要によりスポーツ施設用資材が好調
- 移転価格税制更正処分取消による還付税額無くなり、当期は法人税等増加

営業利益、経常利益は最高益を更新。

12年度実績

売上高331億円59百万円 営業利益18億42百万円、
経常利益20億26百万円 当期利益12億87百万円
(次ページご参照)

I. 2012年12月期決算概要

損益の状況

(単位:百万円、%)

			2011/12		2012/12		
			金 額	百分比	金 額	百分比	増減率
売 上 高			31,474	100.0	33,159	100.0	5.4
売 上 総 利 益			7,938	25.2	8,502	25.6	7.1
営 業 利 益			1,575	5.0	1,842	5.6	16.9
経 常 利 益			1,889	6.0	2,026	6.1	7.2
当 期 純 利 益			1,351	4.3	1,287	3.9	△4.7
為替 レートの	米 国 \$	79.63円	80.12円				
	カナダ\$	80.70円	80.13円				
	中 国 元	12.35円	12.71円				

- 北米事業、スポーツ施設資材事業の販売が増加し、売上高は前年比5.4%増収
- 営業及び経常利益は、北米事業、スポーツ施設資材事業の増収効果のみならず、産業資材事業と建設資材事業の採算性が向上した結果、前年を上回る。
- 移転価格税更正処分取消に伴う税金戻りが無くなり、当期純利益は前年比減

販売費・営業外損益等の状況

(単位:百万円)

※主要科目を記載	2011/12	2012/12	増減額
1. 販管費	6,363	6,660	296
①人件費	2,968	3,082	114
②旅費交通費	220	228	7
③運賃荷造費	774	842	68
④賃借料	344	378	33
2. 営業外損益	314	184	△129
⑤還付加算金	66	—	△66
⑥為替差損益(為損△)	8	△32	△41
⑦持分法投資利益	226	227	1
⑧支払利息(△)	△93	△80	12
3. 特別損益(△損失)	△104	△43	60
⑨貸倒引当金戻入益	17	—	△17
⑩投資有価証券評価損(△)	△32	△5	26
⑪固定資産除却損(△)	△3	△6	△3
⑫減損損失(△)	△9	△5	4
⑬資産除去債務影響額(△)	△50	—	50

I. 2012年12月期決算概要

セグメントの状況

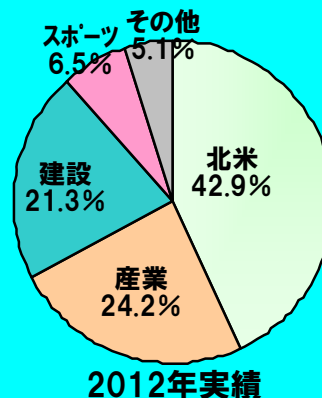
(単位:百万円、%)

		2011/12		2012/12			
		売上高	営業利益	売上高	増減率	営業利益	増減率
セグメント別	北 米	13,346	1,084	14,231	6.6	1,163	7.3
	産 業 資 材	8,052	928	8,035	△0.2	976	5.2
	建 設 資 材	7,054	47	7,046	△0.1	72	52.7
	スポーツ施設資材	1,565	150	2,160	38.0	280	86.2
	そ の 他	1,456	6	1,686	15.8	38	494.9
連 結		31,474	1,575	33,159	5.4	1,842	16.9

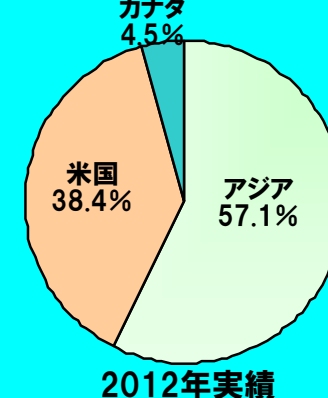
(単位:百万円)

所在地別(売上高)	ア ジ ア	18,928
	米 国	12,745
	カ ナ ダ	1,485
	連 結	33,159

セグメント別売上高構成比



所在地別売上高構成比

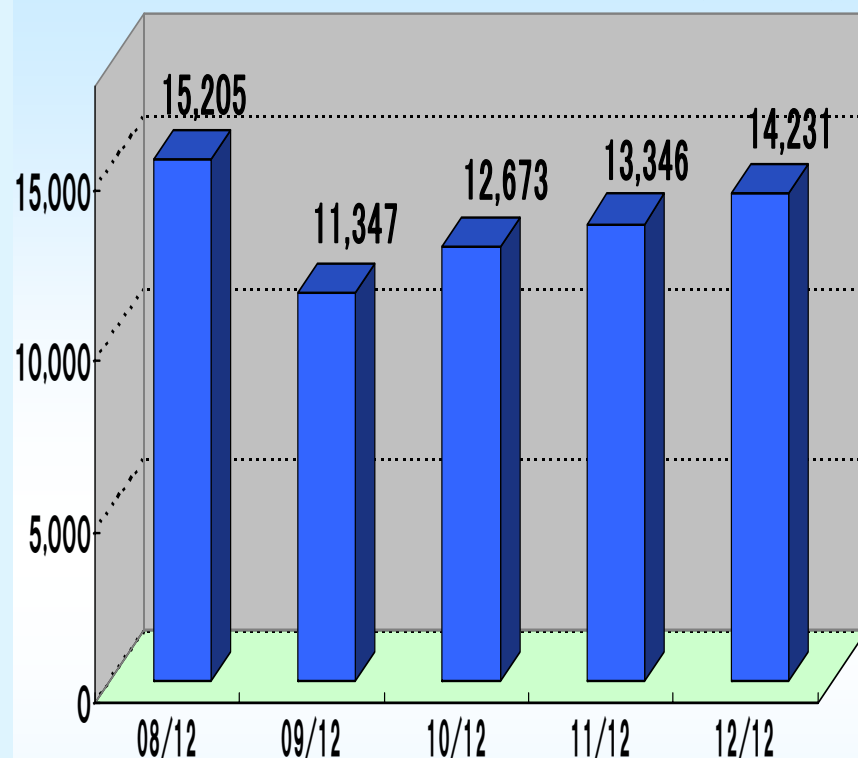


I. 2012年12月期決算概要

北米事業の状況

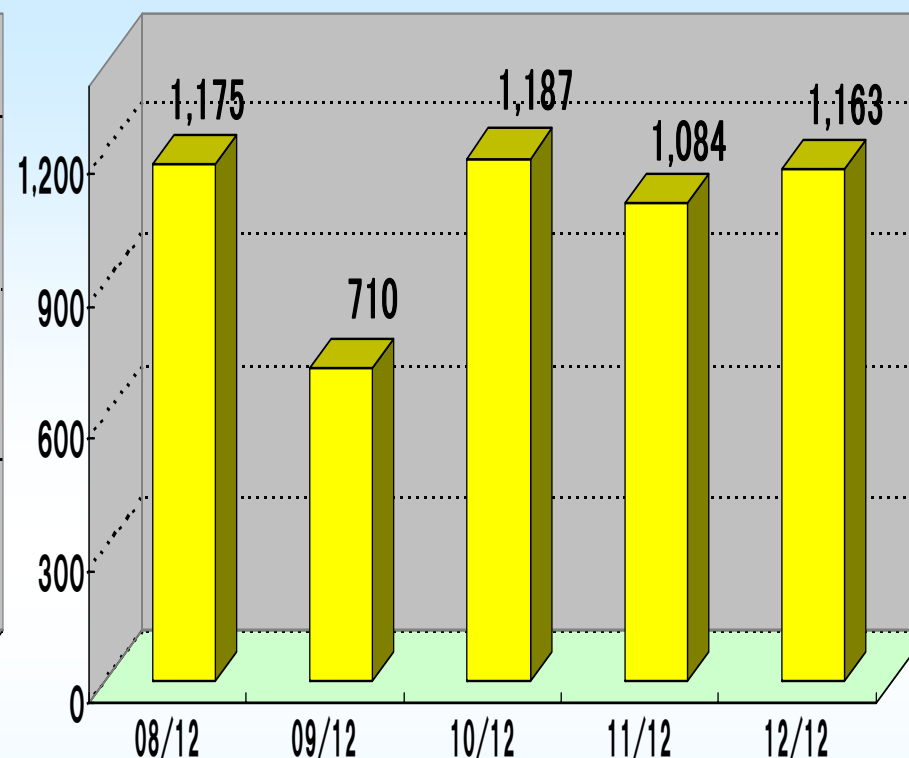
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)



- 樹脂ホース販売(産業・鉱業・農業・飲料業界等へ販売)が現地通貨ベースで過去最高売上、利益を更新
- 現地通貨ベース販売額は、各月、月額ベースで昨年を上回った。
- 売上高は前年比6.6%増、営業利益は前年比7.3%増

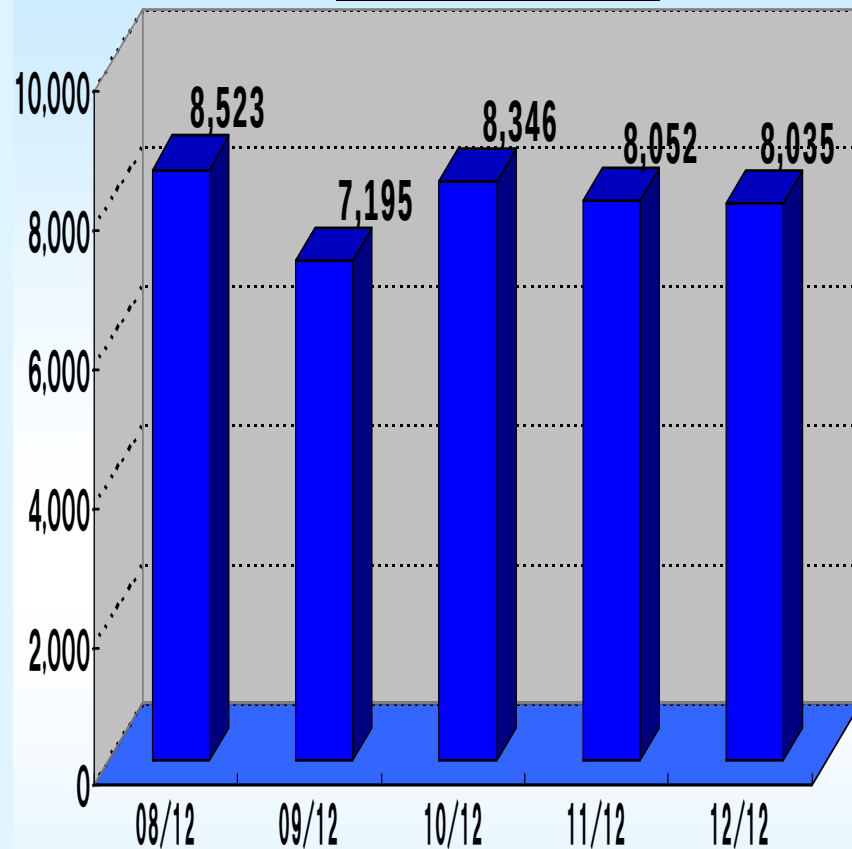
適用レート (1US\$)	08/12	09/12	10/12	11/12	12/12
	102.81円	93.72円	87.30円	79.63円	80.12円

I. 2012年12月期決算概要

産業資材事業の状況

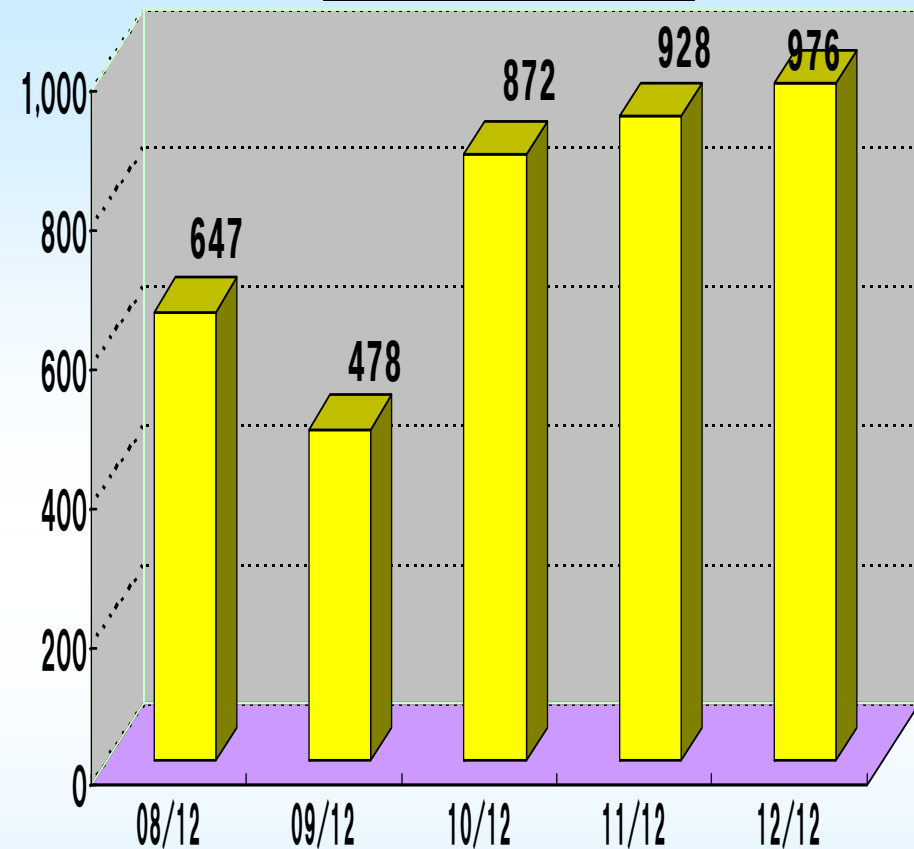
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)

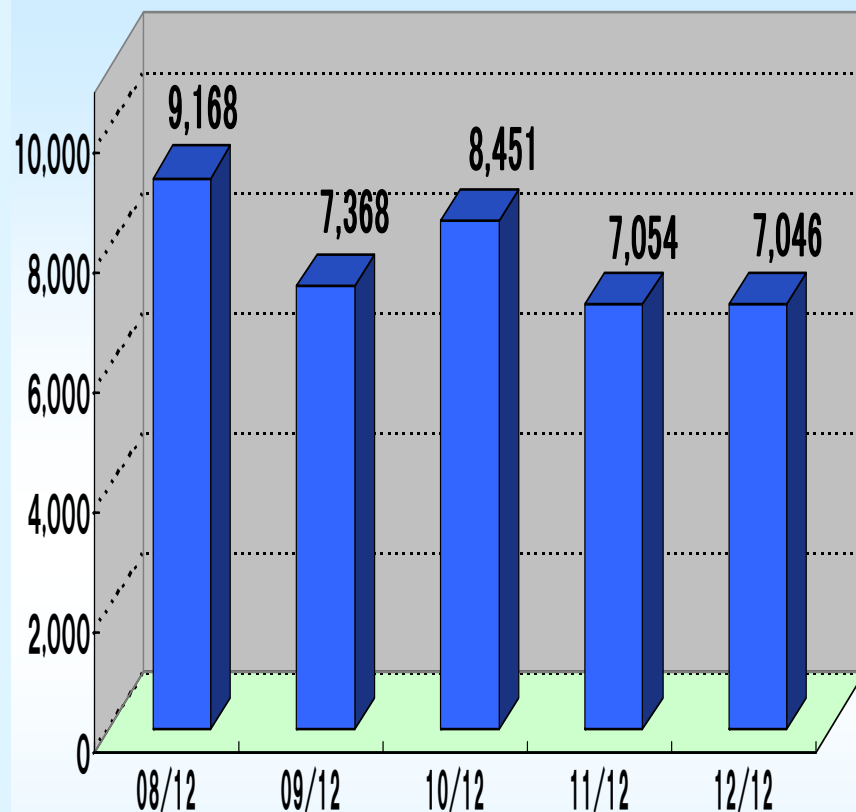


- 大型プラントの受注物件減少し、売上高は0.2%減収
- 建機用部材の販売が好調な他、商品構成比率改善により営業利益は前期に比べ5.2%増益

建設資材事業の状況

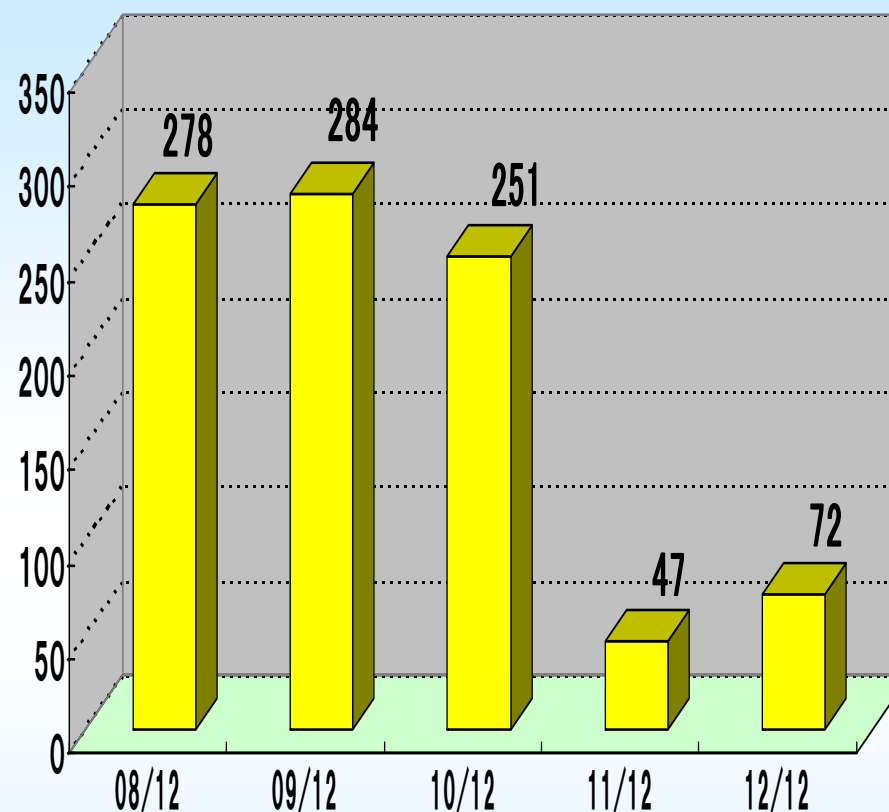
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)



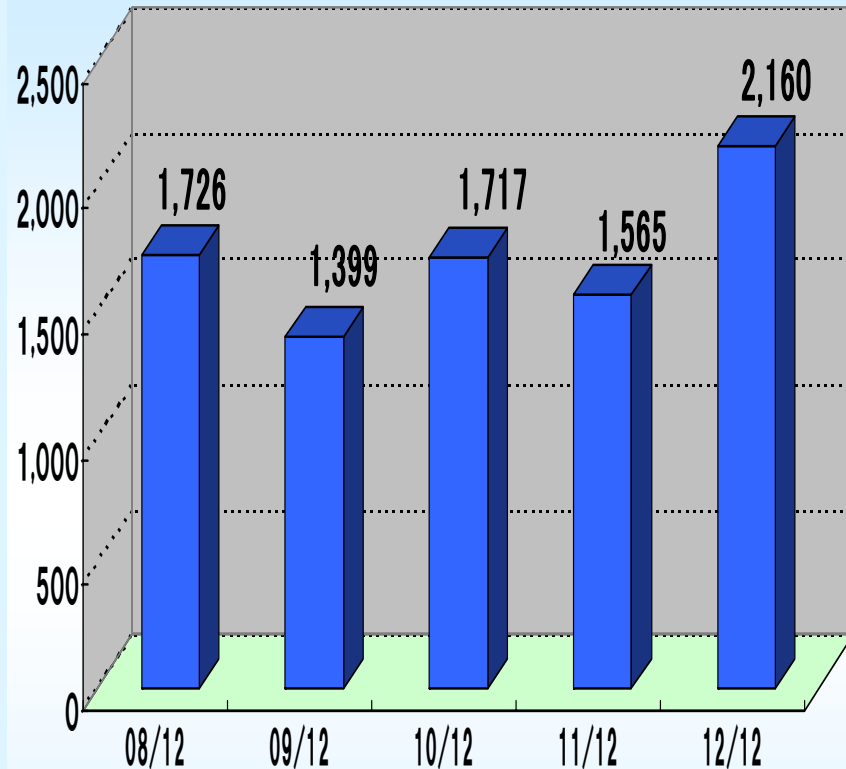
- 公共投資分野の道路橋梁用資材の受注が減少も、民間投資向け資材の販売が増加したことから、売上高は前年同期に比べ、0.1%の減収
- スーパーマテリアルズ(商業施設向)、ブレイルタイル(鉄道施設等向)の販売が好調
- 営業利益は前年同期に比べ、52.7%増益

I. 2012年12月期決算概要

スポーツ施設資材事業の状況

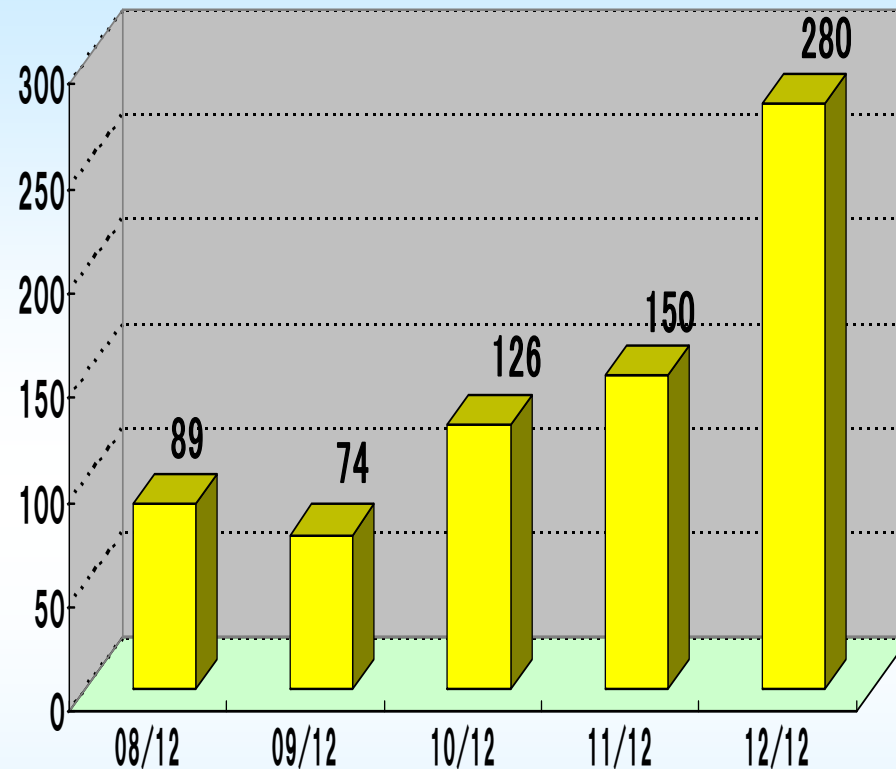
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)



- サッカー場等で使用されるモントーフ(人工芝)は、価格競争激化に伴い、厳しい受注環境が続いたものの、陸上競技場で使用される「スーパーX」(全天候型舗装材)が、復興需要増加に伴い、全体を押し上。
- 前期に比べ、売上高は38.0%増収、営業利益は86.2%増益

I. 2012年12月期決算概要

要約貸借対照表

〔資産の部〕

(単位:百万円)

	2011/12	2012/12	増減額
現金及び預金	3,984	4,348	364
受取手形・売掛金	5,832	5,230	△601
たな卸資産	5,260	6,004	743
その他	609	524	△85
流動資産合計	15,686	16,107	420
有形固定資産	5,372	5,567	194
無形固定資産	267	246	△21
投資その他の資産	3,020	3,382	361
固定資産合計	8,661	9,196	534
資産合計	24,348	25,304	955

借入金返済等に充当も
良好な営業CFにより
現預金増加

販売機会損失防止の
ために北米を中心に在
庫強化

移転価格課税更正処分
取消 還付税額 83百
万円減少等

北米の工場建物拡充及
び機械設備購入が増加
要因

・持分法適用関連会社
株式181百万円増加
・上場株式購入及び時
価上昇105百万円上
昇等

要約貸借対照表

〔負債・純資産の部〕

(単位:百万円)

	2011/12	2012/12	増減額
支払手形・買掛金	5,597	4,809	△787
借入金(1年内長借含)	4,703	4,184	△518
その他	809	999	189
流動負債合計	11,110	9,993	△1,116
借入金	2,278	1,954	△324
その他	1,206	1,365	159
固定負債合計	3,485	3,320	△165
負債合計	14,595	13,313	△1,281
株主資本合計	11,493	12,630	1,137
その他包括利益合計	△1,779	△679	1,099
小数株主持分	39	40	0
純資産合計	9,753	11,990	2,237
負債・純資産合計	24,348	25,304	955

有利子負債圧縮を継続
8億43百万円(純減額)

繰延税金負債 1億23百万円増

当期純利益12億87百万円
計上

・為替換算調整勘定 為替円安
に伴い10億30百万円増
・有価証券評価差額金67百万
円増(時価上昇)

自己資本比率 7.3%増加
2011年度末 39.9%→
2012年度末47.2%

I. 2012年12月期決算概要

キャッシュフロー、設備投資等

(単位:百万円)

	2011/12	2012/12	増減額
営業キャッシュフロー	1,751	1,463	△287
投資キャッシュフロー	△585	△201	383
財務キャッシュフロー	△453	△1,093	△640
現金・同等物期末残高	3,392	3,818	426
設備投資額	575	359	△216
減価償却費	461	461	0
研究開発費	117	105	△12

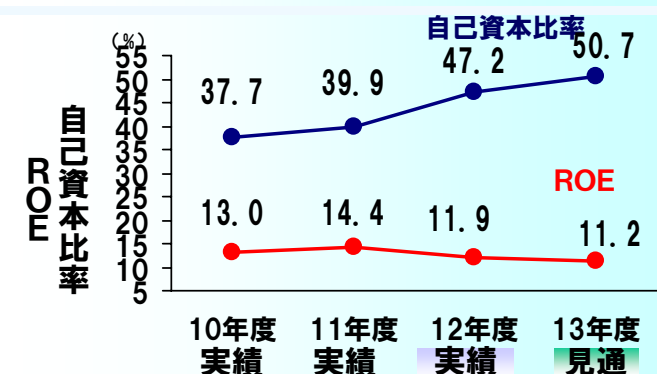
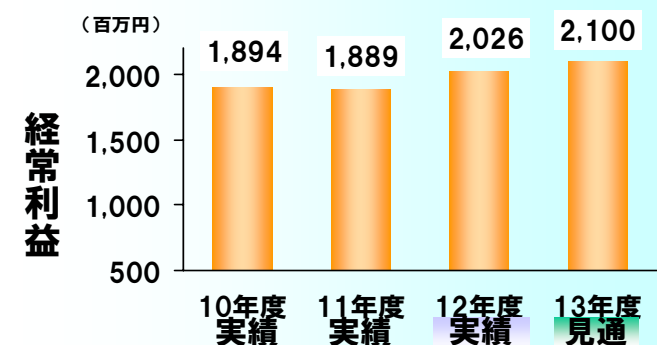
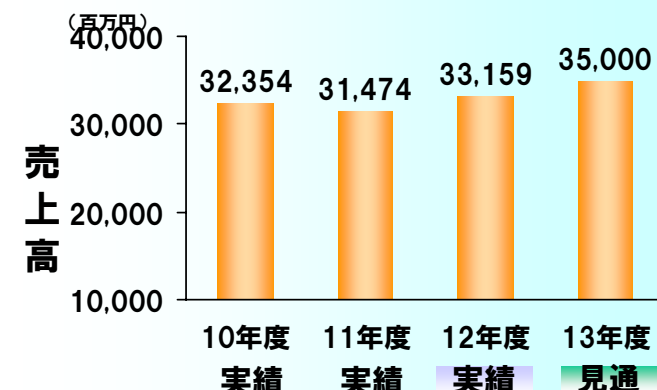
- 営業CF …税金等調整前当期純利益(19億83百万円)、たな卸資産の増加(△2億80百万円)
- 投資CF …有形固定資産の取得による支出(3億30百万円)
- 財務CF …借入金の返済による支出 合計(9億33百万円)
- 設備投資 …北米 2億76百万円、アジア 82百万円

Ⅱ. 2013年度 業績見通し

II. 2013年度業績見通し

クリヤマグループ業績見通し

		2010年 実績	2011年 実績	2012年 実績	2013年 見通
売上高 (百万円)		32,354	31,474	33,159	35,000
営業利益 (百万円)		1,745	1,575	1,842	2,000
経常利益 (百万円)		1,894	1,889	2,026	2,100
純利益 (百万円)		1,142	1,351	1,287	1,400
R O E (%)		13.0	14.4	11.9	11.2
自己資本比率 (%)		37.7	39.9	47.2	50.7
有利子負債増減額 CFベース(百万円) (減少△)		△916	△305	△933	△800
設備投資額 (百万円)		340	575	359	526
為替 レート	米 国 \$	87.30円	79.63円	80.12円	87円
	カナダ \$	84.33円	80.70円	80.13円	87円
	中 国 元	12.90円	12.35円	12.71円	12.70円

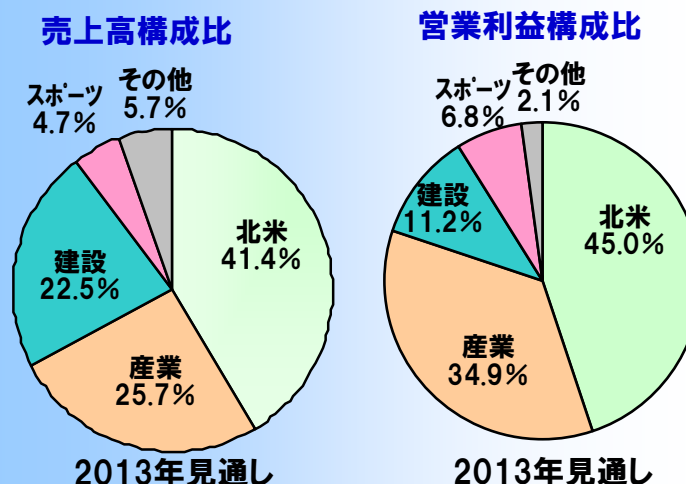
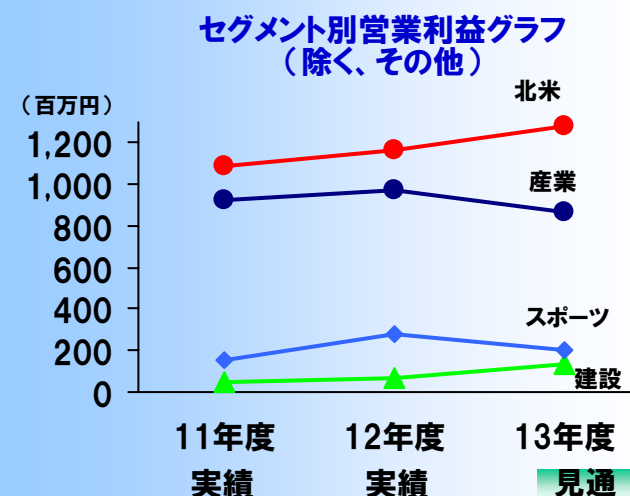


II. 2013年度業績見通し

事業セグメント別業績見通

(単位:百万円)

	2011年 実績	2012年 実績	2013年 見通
北 米 事 業	13,346	14,231	16,109
	1,084	1,163	1,280
産 業 資 材 事 業	8,052	8,035	7,540
	928	976	869
建 設 資 材 事 業	7,054	7,046	7,692
	47	72	133
ス ポ ー ツ 施 設 資 材 事 業	1,565	2,160	1,887
	150	280	198
そ の 他 事 業	1,456	1,686	1,771
	6	38	50
連 結	31,474	33,159	35,000
	1,575	1,842	2,000



(注)1. 上段は外部売上高、下段は営業利益
2. 全社費用は上記に表示しておりません。

II. 2013年度業績見通し

セグメント別業績変動要因

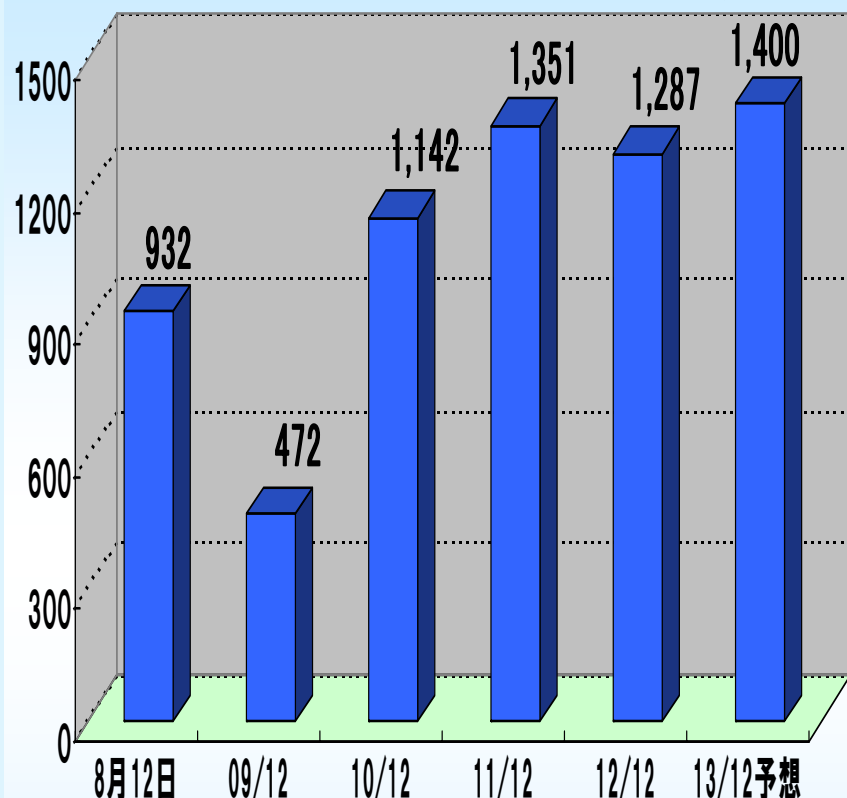
12年度実績と13年度見通変動要因

北米事業	堅調な米国経済を背景に樹脂ホースの販売は、引き続き好調を維持。13年度下半期以降、シェールガス・オイル市場の再活況による受注増を期待。増収増益予想。
産業資材事業	建機市場は、12年下半期より外需が鈍化。13年度下半期に再活況してくることを想定するも同市場向けのOEM資材の販売が通期で前年を下回るものと想定し、減収減益予想。
建設資材事業	民間投資分野(商業施設等)受注増と併せ、公共投資向けにインフラ関連商材の販売が伸長することを想定。増収増益を予想。
スポーツ施設資材事業	12年度は、東日本大震災復興特需有。スーパーX、タラフレックス、人工芝の改修物件の受注注力するも12年度の特需効果大きく、前期に比べ、減収減益を予想。
その他	中国事業は、建機市場が上半期鈍化によりOEM資材の受注減が想定されるも、ホテル事業は、インターネット販売増に伴い、売上を押し上げる結果、増収増益を予想。

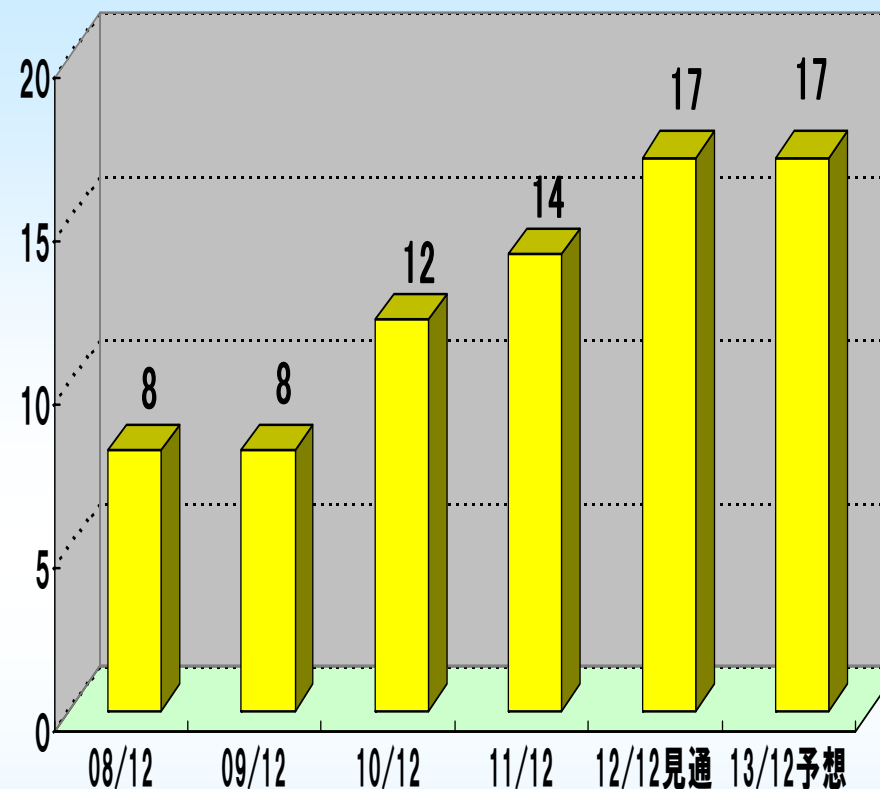
Ⅱ. 2013年12月期業績見通し

配当金の状況

連結純利益の推移 (百万円)



1株当たり配当金の推移 (円)



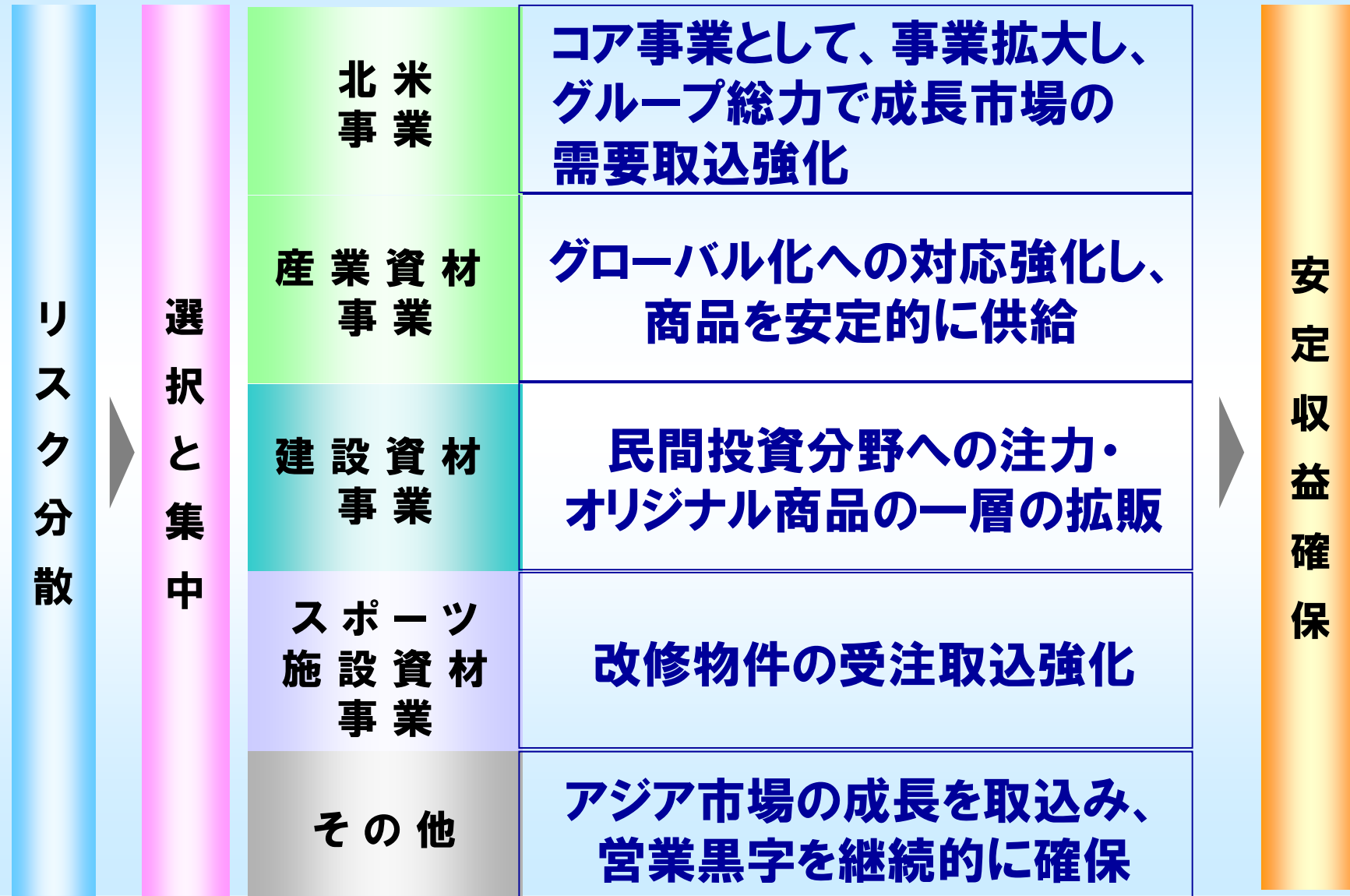
- 09年連結純利益が大幅に落ち込むも安定配当を基本方針として継続配当
- 10年度以降、業績が回復し、段階的に増配を実施
- 株主の皆様のご期待に応えるべく、引き続き業績を拡大し、株主還元努力

Ⅲ. 経営戦略と対処すべき課題

Ⅲ. 経営戦略と対処すべき課題

基本戦略

1 事業ポートフォリオ経営による安定収益確保

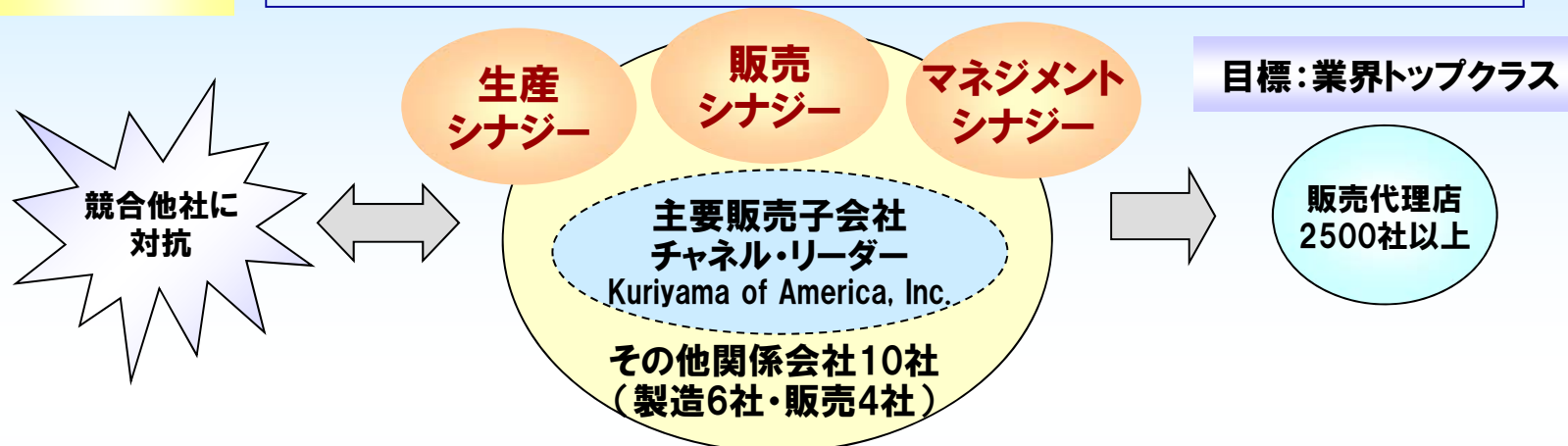


基本戦略

2 グローバルな事業基盤の確立

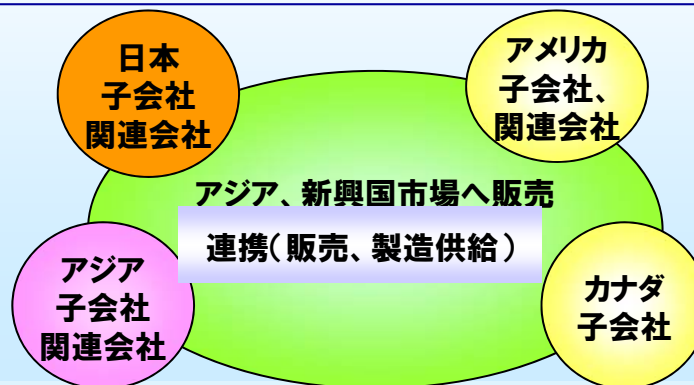
北 米

北米ホース事業拡大と確固たる競争優位を確立



アジア、新興国

樹脂ホース販売拡大を目論み、グループ会社間連携強化
国内向け建設資材の安定供給、サービス体制強化



ーコア事業としての一層の事業拡大ー

- ① 「KURIYAMA VALUE」ブランドの浸透を推進
- ② アジア、中南米市場への参入強化
- ③ 差別化商品の量産体制確立と販売強化
- ④ 北米既存市場での販売シェア拡大
- ⑤ シェールオイル・ガス市場への参入強化
- ⑥ 顧客満足度を高めるために適正在庫を確保

業績見通（百万円）

	2012年 実績	2013年 予想
売 上 高	14,231	16,109
営 業 利 益	1,163	1,280



シェールオイル・ガス
採掘現場



ガソリンスタンド



漁船

産業資材事業

－顧客のグローバル化に伴う対応強化－

- ① NORMA、樹脂コネクター等、重点商品の販促強化
- ② 海外現地商品調達力及び供給力の強化
- ③ 商品構成比率の改善強化
- ④ プラント関連商品、船舶関連商品の販売強化
- ⑤ 次世代エネルギーや排ガス規制対応に向けた商品開発強化
- ⑥ モジュール化の推進等による高付加価値商品販促強化
- ⑦ VA・VE提案活動の強化
- ⑧ 在庫管理体制の強化・適正在庫品の維持

業績見通（百万円）

	2012年 実績	2013年 予想
売 上 高	8,035	7,540
営 業 利 益	976	869



船舶居住区用床材



耐油シリコンホース



建設資材事業

－民間投資分野への注力・オリジナル商品の一層の拡販－

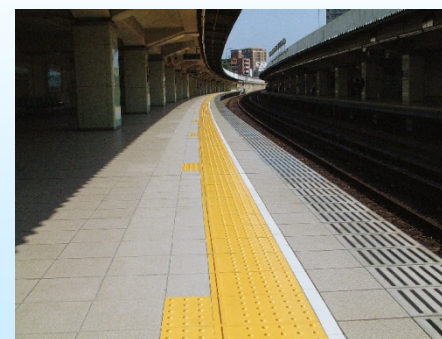
- ① 百貨店、鉄道、チェーンストア市場への販売強化
- ② 当社オリジナル製品(スーパーマテリアلز・エーストン・Mブレイル等)の販売強化
- ③ 復興需要、インフラメンテナンス等、取込強化
- ④ オリジナル商品の品質、コスト、在庫管理の強化
- ⑤ 物件の進捗トレース強化による営業品質の向上
- ⑥ 多面的施工能力を持った人材の育成強化

業績見通 (百万円)

	2012年 実績	2013年 予想
売上高	7,046	7,692
営業利益	72	133



セラミックタイル
(スーパーマテリアلز)



ノンスリップタイル・点字タイル
(エーストン・Mブレイル)



アルミシェルター

スポーツ施設資材事業

－改修物件の取込強化－

- ① スーパーX、タラフレックスの新設及び改修物件の販売強化
- ② 「モンドターフ」のリサイクル事業を核とした改修マーケットへの参入強化
- ③ 代理店との連携による新たな人脈作りと代理店網構築
- ④ 営業プロセス及び情報物件の管理を徹底

業績見通（百万円）

	2012年 実績	2013年 予想
売上高	2,160	1,887
営業利益	280	198



人工芝 リサイクルシステム



ナショナルトレーニングセンター



イタリア 全天候型トラック
（スーパーX）



フランス スポーツ床材
（タラフレックススポーツ）



イタリア 人工芝
（モンドターフ）

その他

－アジア市場の成長を取込み、営業黒字を継続的に確保－

中国事業

- ① 中国商業施設等へ床材の販売促進
- ② 建機、農機等、OEM資材受注拡大
- ③ 北米グループ会社との連携によるホースの販売促進、代理店確保

ホテル事業

- ① ネット販売強化
- ② 海外顧客及びスポーツ団体顧客取込強化

アウトドア用品販売事業

- ① 主力ブランド商品(MONTURA)の販売強化
- ② 大黒柱となる事業発掘とその育成

ダスコン用品販売事業

- ① 高付加価値マットの提案と既存顧客のシェアアップ
- ② 制菌マット等の拡販

研究開発事業

- ① 産業資材・建設資材・スポーツ施設資材の商品改良等を行い、各事業を補完

業績見通 (百万円)

	2012年 実績	2013年 予想
売 上 高	1,686	1,771
営 業 利 益	38	50

ご清聴誠にありがとうございました。

＜お問い合わせ先＞

クリヤマホールディングス株式会社
経営企画部

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL 06-6305-5721

FAX 06-6305-5604

<http://www.kuriyama-holdings.com/>